

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	外国人受入医療機関認証制度開発のための支援事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	総務課		課長:池永敏康	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成23年3月31日付厚生労働省発医政0331第31号「医療施設運営費等補助金及び中毒情報基盤整備事業費補助金の国庫補助について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	外国人患者を受入れる医療機関の認証制度の整備を行うことにより、外国人患者を受け入れる医療機関の質の確保を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際医療交流を推進する観点から、本制度を普及させ議同に乗せるための認証機関に対する支援を行う。 ・既に外国人患者受入の実績を有する主な病院の状況調査 ・当該病院を複数回利用している者のニーズ等の把握 ・本制度の認証前後での医療機関の変化についての調査 ・認証病院についてのデータベースの構築及び国内外への情報発信 ・審査予定の医療機関向けの講習会の実施						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算				35	14
		補正予算					
		繰越し等					
		計				35	14
		執行額					
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(24年度)
	認定病院数	成果実績				-	5病院
		達成度	%				-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	認定病院数	活動実績(当初見込み)				-	-
						(-)	0病院
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	医療施設運営費等補助金	35	14	平成23年度はシステム構築のため			
計	35	14					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	成長戦略に定める国際医療交流が図られるよう進めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、外国人患者を受け入れる医療機関の認証制度の構築は医療の質を確保するものであり、このことは「新成長戦略」にも位置づけられているところであることから、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名		在宅医療・介護の推進		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度～		担当課室	指導課 在宅医療推進室、医事課、 歯科保健課、看護課		室長：福原康之		
会計区分		一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		-		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)		施設中心の医療・介護から生活の場において必要な医療・介護サービスを受けられる体制を構築することにより、住み慣れた場で、安心して自分らしい生活を実現できる社会を目指すため、①マネジメントするための人材の育成②実施拠点となる基盤の整備③個別の疾患等に対応したサービスの充実・支援などを行う。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		<p>(1)マネジメントするための人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●在宅チーム医療を担う人材の育成(今後、増加が見込まれる在宅療養者への質の高い在宅医療を提供できるよう、医師、看護師などの専門職種ごとの研修を行うとともに、多職種協働で地域において在宅医療を担う人材(指導者)を養成するための研修を行うことにより在宅医療を担う人材の知識、技術の習得や向上を図る。) <p>(2)実施拠点となる基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●在宅医療連携体制の整備(多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、医療と介護が連携した地域での包括的かつ継続的な在宅医療の提供に向け、在宅医療を提供する医療機関等による連携拠点を各地域に整備する。) <p>(3)個別の疾患等に対応したサービスの充実・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●在宅医療推進のための看護業務の安全性等検証事業(患者・家族が希望する在宅医療を実現するため、専門的な臨床実践能力を有する看護師が医師の包括的指示を受け、看護業務を実施できる仕組みの構築に向け業務の安全性や効果の検証を行う。) ●在宅介護者に対する歯科口腔保健推進事業(在宅療養者の健康の保持・向上を図るため、在宅療養者を介護する家族等(在宅介護者)に対して歯科疾患の予防に向けた取組み等による口腔の健康の保持(歯科口腔保健)の普及啓発を行う体制を各地域に整備する。) 							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算 の 状 況	当初予算					109	4,564
			補正予算						
			繰越し等						
			計					109	4,564
		執行額							
執行率(%)									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		在宅看取り数の増加 (人口動態調査)		成果実績					
				達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		在宅医療を担う職能別の研修 ・多職種参加によるサービス調整等を主眼とする研修 ・多職種協働による在宅医療提供体制の構築 ・個別の疾患等に対応したサービス充実のための研究や整備		活動実績 (当初見込み)				()	()
単位当たり コスト		-		算出根拠					
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	在宅チーム医療の推進のための研修	0	551	箇所数等の増					
	在宅医療を担う医療福祉従事者の育成	0	316						
	在宅医療連携拠点事業	109	3,147						
	在宅医療推進のための看護業務の安全性等検証事業	0	92						
	在宅介護者に対する歯科口腔保健推進事業	0	457						
	計	109	4,564						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	医師、看護師、ケアマネージャー等の多職種協働による在宅医療提供体制の構築については地域のニーズと合致している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業者の選定については、事業計画書の中で ・多職種連携の課題に対する解決策の抽出 ・在宅医療従事者の負担軽減の支援 ・効率的な医療提供のための多職種連携 のそれぞれの課題の解決策がより明確になっているものについて優先的に採択した。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>在宅医療連携拠点事業は、地域における在宅医療の相談・支援体制を担っていた在宅医療推進支援事業とは違い、1)多職種連携の課題に対する解決策の抽出、2)在宅医療従事者の負担軽減の支援、3)効率的な医療提供のための多職種連携を行うことで、在宅医療の提供体制を構築し、分断した医療と介護を包括的かつ継続的に提供できる体制を構築するものである。</p> <p>また、事業終了後に事業全般について総合的に評価し、今後の在宅医療に関する政策立案や均てん化に役立てていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、国民が住み慣れた地域で生活することを支えるために、医療・介護にまたがる様々な支援を包括的に提供する連携体制を構築するものであり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	歯科疾患実態調査費	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度	担当課室	歯科保健課	課長：上條英之			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	わが国の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国民生活基礎調査により設定された単位区から層化無作為抽出した区内の世帯および当該世帯の満1歳以上の世帯員を調査客体とし、国民の歯の健康状況等を調査する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算				28	
		補正予算					
		繰越し等					
		計				28	
		執行額					
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	わが国の歯科保健状況を把握するための調査であり、調査して得た結果に対して成果を示す指標なし	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査対象人数	活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-	-
					(-)	(15,000)	
単位当たりコスト	1,863(円/人)	算出根拠	22年度予算/調査対象人数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	謝金	1	0				
	旅費	1	0				
	庁費	11	0				
	委託費	15	0				
計	28	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度の事業の実施状況を踏まえ、改善策等を検討したい。		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、国民の歯・口腔の健康状況を把握するために、6年毎に全国規模で実施している実態調査であり、本年度に実施することで事業目的が達成されることから、平成23年度限りの経費である。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名		看護師等養成所報告管理システム移行経費		担当部局庁	医政局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度限り		担当課室	看護課		課長：岩澤和子			
会計区分		一般会計		施策名	IV-1-3 医療従事者の資質の向上を図る					
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		WAM-NET事業については事業仕分けにより事業縮小とされ24年度以降は同様の運用は見込めないことから、23年度中にWAM-NET基盤からシステムを切り離し、独自のシステム基盤へ報告データとともに移行を行う。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		WAM-NET事業については事業仕分けにより事業縮小とされ24年度以降は同様の運用は見込めないことから、23年度中にWAM-NET基盤からシステムを切り離し、独自のシステム基盤へ報告データとともに移行を行う。								
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算の状況	当初予算	/					30	
			補正予算	/						
			繰越し等	/						
			計	/					30	
		執行額		/						
執行率(%)		/								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
		事業の完了		成果実績						
				達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
		事業の完了		活動実績						
				(当初見込み)				() ()		
単位当たりコスト		-		算出根拠						
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由						
	雑役務費	20	0							
	借料及び損料	10	0							
	計	30	0							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度限りの経費であり、事業終了後は看護師等養成所報告管理システム運用事業を適切に行っていく。		
	<p style="text-align: center;">予算監視・効率化チームの所見</p> <p>本事業は、保健師助産師看護師法施行令に規定されている看護師等養成所運営報告について、インターネットを利用した報告体制を構築するシステムの改修等経費であり、本年度に実施することで事業目的が達成されることから、平成23年度限りの経費である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	歯科保健医療情報収集等事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	歯科保健課		課長：上條英之		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-3 医療従事者の資質の向上を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	歯科医療現場における院内感染対策の取組状況等に関する情報収集等を行い、国民や歯科医療関係者に対して、歯科医療に関する正確な情報を発信する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	歯科保健医療サービスを実施する全国の歯科医療機関(診療所、病院等)から、歯科保健医療サービスを推進する上での問題点等の情報を収集し、その内容の整理・分析を行うとともに、収集した問題点等の情報を基に歯科保健医療サービスに関するガイドライン等を作成する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算				23	17	
		繰越し等						
		計				23	17	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	歯科医療機関から情報収集する項目数	成果実績	項目	—	—	—	4	
		達成度	%	—	—	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	情報収集の対象件数	活動実績 (当初見込み)	件	—	—	—	—	
						(—)	(15,000)	
単位当たりコスト	1,532(円/件)		算出根拠	22年度予算/対象件数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	謝金	0.9	0.9	事業内容の見直しによる減				
	旅費	0.2	0.2					
	庁費	0.2	0.2					
	委託費	21.7	15.3					
計	23.0	16.6						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度の事業の実施状況を踏まえ、改善策等を検討したい。		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、安心・安全な歯科保健医療を提供するために、歯科保健医療を取り巻く状況、医療安全情報等を収集・分析し国民や歯科医療関係者に正確な情報を還元するものであり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	シームレスな健康情報活用基盤実証事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：福原康之	
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-7 医療を始めとする社会保障分野の情報化を推進するとともに、社会保障・税に関わる番号制度の実現に向けた検討に参画する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成18年1月:IT新改革戦略 平成19年3月:医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成20年8月:重点計画2008 平成21年4月:デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月:i-japan戦略2015 平成22年5月:新たな情報通信技術戦略			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	個人がいつでも自己の診療情報等を活用できる仕組みや、医療機関間等のシームレスな連携体制を構築。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	IT戦略本部のタスクフォースの議論を踏まえ、医療機関等から個人に対して診療情報等を提供するための電子フォーマットの標準化及び整備や処方箋の電磁的な交付の検討を実証する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算				173	150
		繰越し等					
		計				173	150
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	検証事業のため、定量的評価は困難		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	検証事業のため、定量的評価は困難		活動実績(当初見込み)				-
						() ()	
単位当たりコスト	-		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	システム開発費	125	68	平成23年度は、システムを新たに構築するための費用を中心に計上している。平成24年度は、構築したデータセンターの維持管理等を行うための費用を計上している。			
	システム購入費	5	0				
	データセンター管理運用経費	34	68				
	その他経費	9	14				
計	173	150					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検 結果	平成23年度事業の実施状況を踏まえ、改善策等を検討したい。		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、国民が適切な医療を受けるため、自らの医療・健康情報を電子的に管理・活用するために地域医療ネットワークを構築するモデル事業であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	EBM普及推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：福原康之		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-7 医療を始めとする社会保障分野の情報化を推進するとともに、社会保障・税に関わる番号制度の実現に向けた検討に参画する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成19年3月：医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成19年5月：医療・介護サービスの質向上・効率化プログラム 平成19年6月：経済財政改革の基本方針2007 平成20年6月：IT政策ロードマップ 平成20年6月：経済財政改革の基本方針2008 平成20年8月：重点計画2008 平成21年3月：規制改革推進のための3か年計画(再改定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	EBM(Evidence Based Medicine「根拠に基づく医療」)を推進することにより、最新かつ最適な情報に基づく治療法等を、専門分野外の診療を行う医師や医学雑誌等の情報の入手が難しい遠隔地に勤務する医師等を含め、全ての診療の場で容易に活用できる効果が期待されている。また、患者にとっても治療法等の拠り所となる科学的な根拠が明示されるため、自分の病気を十分に理解し、治療法等を選択することが可能となる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	EBMの普及・啓発等を進めていくため、インターネットの普及が進んだ現代社会において、診療ガイドラインや国内外の医学文献等について科学的に評価を行った上でデータベースとして整備し、インターネットを中心に広く国民へ提供する。このことにより、EBMの推進を図り、良質な医療提供体制を確保することを目的とする。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算				154	150	
		繰越し等						
		計				154	150	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	診療ガイドライン等医学文献情報の整備数		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	診療ガイドライン等医学文献情報の整備に係る会議等開催回数		活動実績 (当初見込み)				()	()
単位当たりコスト	-		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	データベース整備費	98	49	平成23年度は、データベースを新たに構築するための費用が計上されており、その分診療ガイドライン等評価費や運営に係る費用は、規模を縮小している。 平成24年度は、構築したデータベースの維持管理を行うための費用を計上し、診療ガイドライン等評価費や運営に係る費用を規模を縮小せずに計上している。				
	診療ガイドライン等評価費	23	48					
	その他運営費	33	53					
	計	154	150					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度事業の実施状況を踏まえ、改善策等を検討したい。		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、安心・安全な医療提供体制を確保するために、医療の安全な提供、医療の質の向上に資する診療ガイドライン等の最新医学知識をインターネットで閲覧可能にし「根拠に基づく医療」を推進していくものであり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年度行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名		統合医療に係る情報発信等推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度		担当課室	総務課		課長:池永敏康		
会計区分		一般会計		施策名	IV-1-4 医療安全確保対策を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		国民が「統合医療」に関する適切な情報を入手できるための環境整備を行うことを目的として、国民への適切な情報発信に向けた準備を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		「統合医療」の情報発信等のあり方について、有識者からなる検討会を設け、事業内容を具体化する。 ・国民へ統合医療に関する適切な情報発信を行うため、「統合医療」の技術評価の手法、「統合医療」に関する情報発信の対象、「統合医療」に関する情報提供のあり方について検討を行う。							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算					10	12
			補正予算						
			繰越し等						
			計					10	12
		執行額							
執行率(%)									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
		統合医療の情報提供のあり方等に関する結論を得る。		成果実績				-	100%
				達成度	%			-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		統合医療に関する検討会等の開催数		活動実績 (当初見込み)				-	-
							(-)	(3回)	
単位当たりコスト		-		算出根拠		-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	衛生関係指導者養成委託費	10	12	平成23年度の検討結果を受け、統合医療にかかる情報発信を具現化するため。					
計	10	12							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	予算要求等について改善していく点がある場合には、的確に反映してまいりたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、安全性、有効性の実態が正確に把握されていない統合医療について、国民が健康被害を受けないよう、適切な情報を発信する事業であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	臨床研究コーディネーター、データマネージャー確保のための研修事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	研究開発振興課		課長:佐原康之	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-6 新医薬品・医療機器の創出等を促進するとともに、医薬品・医療機器産業の振興を図る			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	新たな治験活性化5カ年計画 (平成19年3月30日 文部科学省・厚生労働省)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本発のイノベーションを目指した臨床研究の実施のためにはCRCの育成のみならず、研究者自身が計画の立案から結果の取り纏めを行う臨床研究の支援に携わる上級者CRCの育成と、集積されたデータを適切に管理し、高水準な質を維持できるデータマネージャーの育成が必要である。臨床研究力を強化し、日本発のイノベーション創出が図れるように、臨床研究の支援に携わる人材の育成を目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	研究の立案からデータの取り纏めまでを幅広い知識と経験でサポートしできる上級者CRC(臨床研究コーディネーター)、及びデータマネージャー養成研修を実施する。 CRC:質の高い臨床研究を倫理的な配慮下に科学的に適正かつ円滑に進めるため、治験等にかかる業務の支援を行う者。 データマネージャー:治験・臨床研究におけるデータの管理業務に携わる者。治験・臨床研究で得られるデータの品質管理を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算				9	9
		繰越し等					
		計				9	9
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	日本全体の上級者CRCおよびデータマネージャー数	成果実績	人	-	-	-	750
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本事業の養成数		活動実績(当初見込み)	人	-	-	-
単位当たりコスト	9(千円/人)		算出根拠	平成23年度の予算額 9,025千円 ÷ 本事業の養成数 100人 = 9千円/人 ※平成23年度から実施する事業のため、予想されるコストである。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	医薬品等試験調査委託費	9	9				
	計	9	9				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検 結果	<p>治験のみならず種々の臨床研究指針に精通した、指導的立場の人材はまだ少なく、また、臨床研究は日進月歩で進歩しており、こういったリアルタイムな動きに関する情報は国以外ではなかなかフォローできないことから、このような情報を有した国自らが臨床研究コーディネーターの研修を行うことが必要である。 平成23年度の実施状況を踏まえ、改善策等を検討したい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、ドラッグラグ・デバイスラグを解消するため、臨床研究の支援に携わる人材である臨床研究コーディネーター、データマネージャー養成研修を行うものであり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立成育医療研究センター施設整備費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	国立病院課		課長：片岡佳和	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-5 政策医療を向上・均てん化させる			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助		関係する計画、通知等	平成23年3月29日厚生労働省発医政0329第20号「平成23年独立行政法人国立成育医療研究センター施設整備費の国庫補助について」 平成23年5月2日厚生労働省発医政0502第3号「平成23年度独立行政法人国立成育医療研究センター施設整備費補助金交付要綱の一部改正について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立成育医療研究センターの施設の整備のために要する経費を補助することにより、同センターの業務(母性及び父性並びに乳児及び幼児の難治疾患、生殖器疾患その他の疾患であって、児童が健やかに生まれ、かつ、成育するために特に治療を必要とするものに係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等)の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人国立成育医療研究センターが施行する研修施設の整備費						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算				400	450
		補正予算				598	
		繰越し等					
		計				998	450
		執行額					
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	施設整備についての成果は、整備の完了であり、定量的な成果指標の設定は困難である。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	施設整備についての活動を、定量的な活動指標をもって設定することは困難である。	活動実績 (当初見込み)	—	(—)	(—)	(—)	(—)
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠	—			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	400	450	前年度からの継続事業			
	計	400	450				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では、特段問題はない。		
予算監視・効率化チームの所見			
-	本事業は、独立行政法人国立成育医療研究センターが教育・研修の更なる充実を図るため施行する教育研修棟新築整備工事であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名		地域医療支援センターの運営		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度～		担当課室	指導課 医師確保等地域医療対策室		室長 石川直子		
会計区分		一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		都道府県が責任を持って医師の地域偏在等の解消に取り組み、地域医療に従事する医師のキャリア形成支援策など一体的に医師不足病院へ医師の派遣やあつせん等を行うシステムを構築するため、都道府県を事業主体とした「地域医療支援センター」を設置するもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		地域医療支援センターの運営事業に対する以下の補助を行う。 1. 専任医師に対する人件費 12,548千円/1人(上限2人) 2. 専従職員に対する人件費 3,899千円/1人(上限3人) 3. 事業にかかる経費 36,018千円 補助率 : 1/2							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	-	-	-	546	1,092	
			補正予算	-	-	-			
			繰越し等	-	-	-			
			計	-	-	-	546	1,092	
		執行額	-	-	-				
執行率 (%)	-	-	-						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		23年度は、15箇所で行動的に事業を実施。		成果実績					
				達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		23年度から実施		活動実績 (当初見込み)				() ()	-
単位当たりコスト		-		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	医療施設運営費等補助金	546	1,092	箇所数の増					
	計	546	1,092						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、医師の地域偏在の解消といった明確な目標があり、事業の内容についても過去の事業仕分けの結果や横断的な見直準等を踏まえたものとなっている。 また、現在のところ執行面において明らかとなっている課題はない。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、地域医療に従事する医師のキャリア形成の支援、医師不足病院への医師の派遣調整等を行う地域医療支援センターを運営することにより地域医療に従事する医師を確保し、医師の地域偏在を解消するものであることから、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	チーム医療実証事業	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度限り	担当課室	医事課	課長:田原克志			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	・「チーム医療の推進について」(平成22年3月19日 チーム医療の推進に関する検討会取りまとめ)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	看護師、薬剤師等医療関係職種の活用の推進や役割の拡大によりチーム医療を推進し、各職種の業務の効率化・負担軽減等を図るとともに、質の高い医療サービスを実現するため、チーム医療の安全性や効果の実証を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○「チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例集」(平成23年6月チーム医療推進会議取りまとめ)に基づく取組について、実際の医療現場において、① 医師・歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等の業務の安全性、② 疾病の早期発見・回復促進、③ 重症化等の予防、④ 医師等の業務の効率化、⑤ 医師等の業務負担の軽減などの安全性・効果等を実証を行う。 ○特定看護師(仮称)等、看護師の業務範囲の拡大を検討するため、医療現場等における業務の効果、安全性、他職種からの評価等を実証を行う。 (委託先) 病院、訪問看護ステーション等						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算				365	
		補正予算					
		繰越し等					
		計				365	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	医療施設従事医師数 平成16年:256,668人、平成18年:263,540人 (102.7%) ※医師・歯科医師・薬剤師調査より(2年ごと)	成果実績	人	271,897	—	集計中	前回調査以上
		達成度	%	103.2	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	事業実施施設	活動実績 (当初見込み)	施設数	—	—	—	() (90)
単位当たりコスト	4,055(千円/1施設あたり)	算出根拠	平成23年度予算/平成23年度活動見込(施設数)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	チーム医療等実施状況調査集計・分析業務委託費	5.5	0	単年度限りの試行事業であるため			
	チーム医療等検証委託費	359.3	0				
計	365	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度限りの経費である		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、安全で質の高い医療を実現するため、各医療関係職種の専門性を高め、それぞれの役割を拡大し、各職種が互いに連携して医療を提供する「チーム医療」を実証していくものであり、本年度に実施することで事業目的が達成されることから、平成23年度限りの経費である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					